

健全かつ持続可能な介護保険のために － 自立支援介護のすすめ

国際医療福祉大学大学院

竹内 孝仁

重度要介護者への介護 (これまでの経過)

〈一般的介護〉

三大介護

おむつ交換
食事介助
入浴介助

〈平成16年度〉

全国老施協
「介護力向上講習会」
“介護の質の向上を
目指して”

〈平成26年度〉

県老施協
ブロック老施協
に拡大

自発的散発的に
おむつ外しなどが行われていた

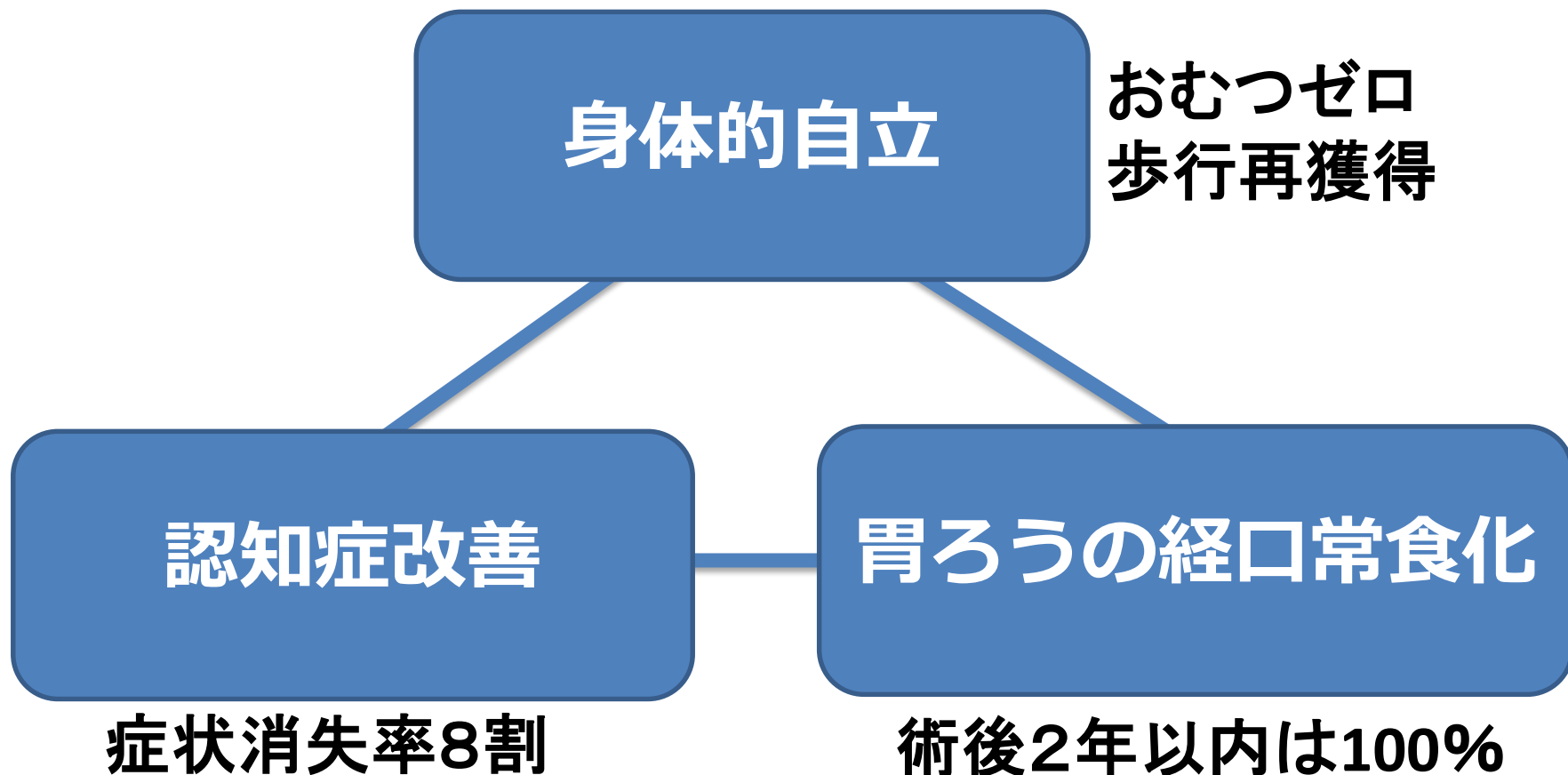
昭和58年全国老施協大会に
おむつゼロ施設の報告

成果(H28 現在)

◎おむつゼロ特養109施設

◎ “ 30%以下151施設

自立支援介護の主な内容





要介護4(入所時)→ 要介護2(現在)

水分記録係になって水分量
をチェックしている様子



飛行機の旅をして
全国大会にゲスト出演

認知症あんしん生活実践塾 2016
- 家族で治そう認知症 -

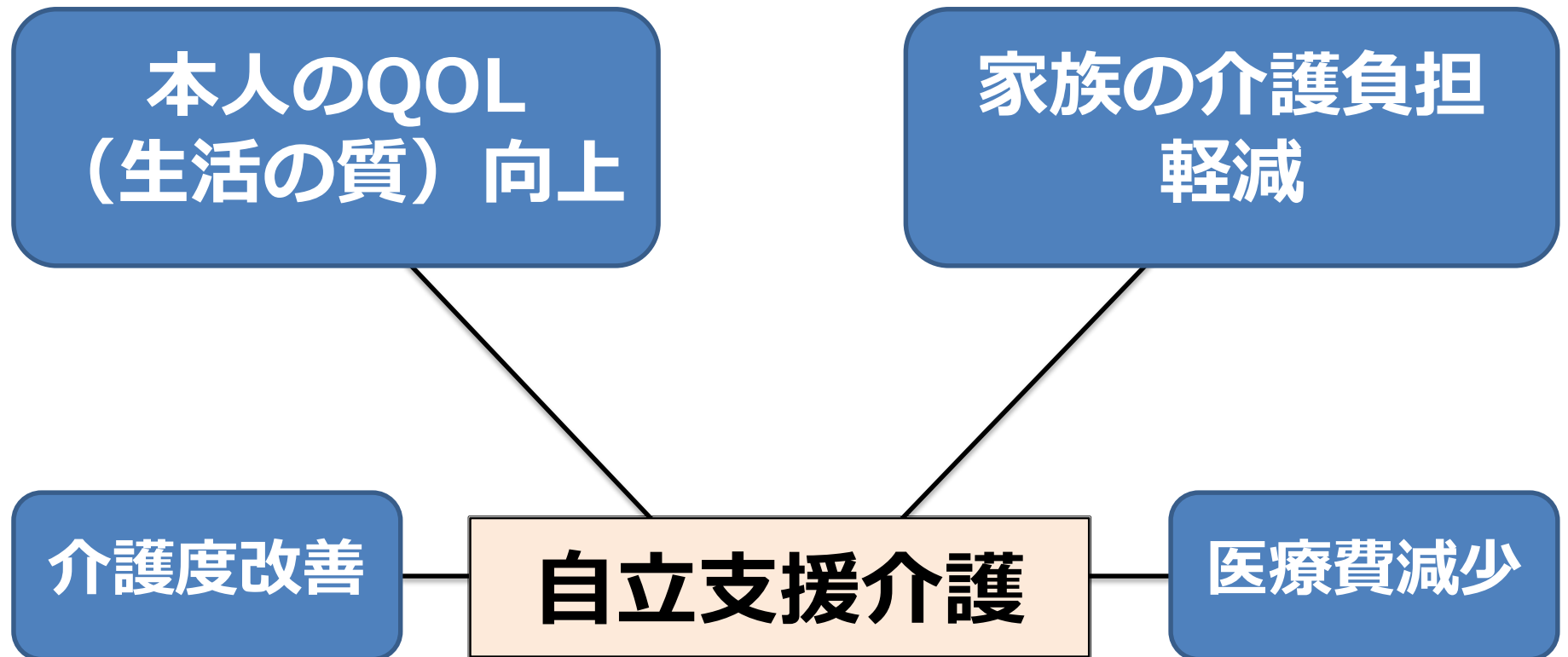


83歳独居徘徊、生活崩壊



95歳 要介護5

自立支援介護の成果



I .施設入所後の介護度の変化（杜の風・上原）

《改善者の内訳》

介護度変化

入所時		I	II	III	IV	V
I	0 人	0 人	0	0	0	0
II	7	1	3	3	0	0
III	23	2	6	11	3	1
IV	25	4	5	9	5	2
V	8	0	0	1	2	5
平均	3.54	(変化後)	2.97			
合計	63 人	H27.2時点				

	利用者数	割合
悪化	9人	14%
維持	24人	38%
改善	30人	48% 8

介護保険認定更新された利用者
63名を対象

Ⅱ.通所施設

(パワーリハビリサービス) での 介護度の変化

ポラリス介護度変動一覧 H25年～H27年

	合計	卒業	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	維持・改善	悪化
支1	1759	130	1196	296	109	22	4	2	0	1326	433
支2	1158	46	212	750	102	38	5	5	0	1008	150
介1	1064	22	33	117	685	170	31	6	0	857	207
介2	557	5	8	28	110	315	76	15	0	466	91
介3	307	1	2	19	26	78	149	25	5	275	30
介4	148	0	3	3	10	19	32	67	14	134	14
介5	41	0	2	1	2	6	7	5	18	41	0
合計	5032	204	1456	1135	991	581	251	105	27	4107	925

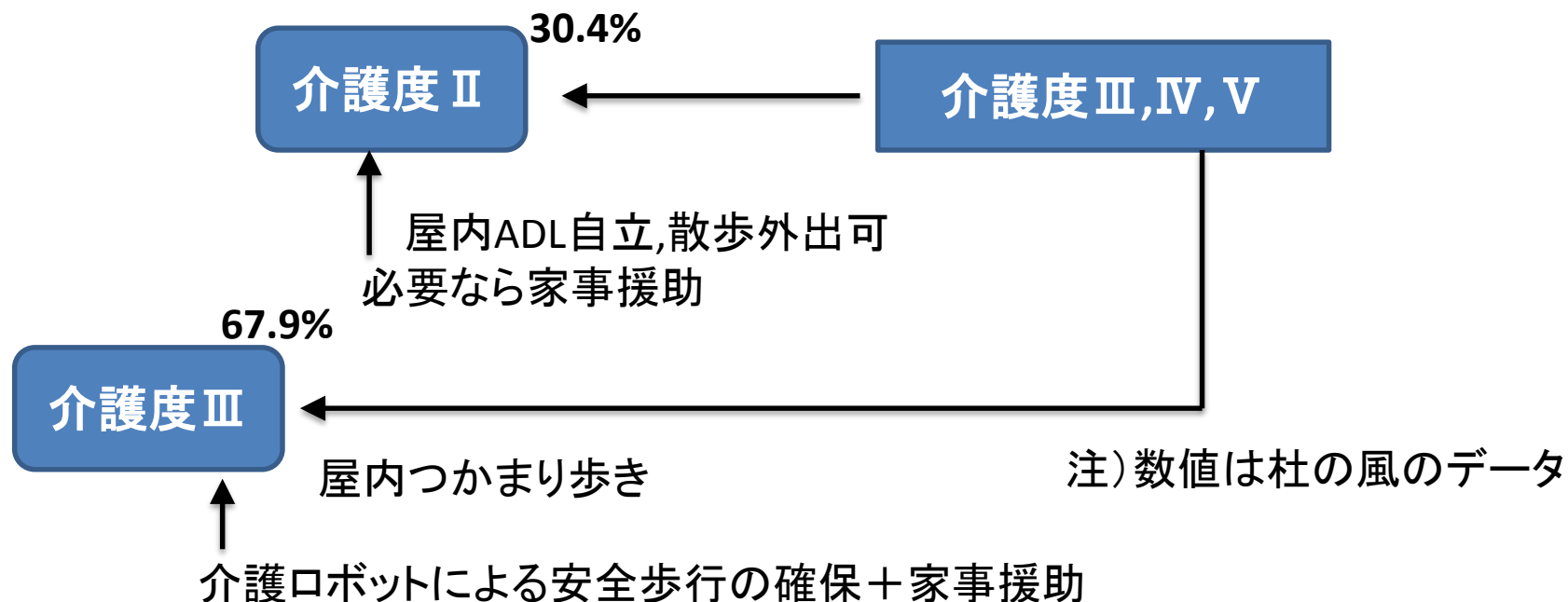
Ⅲ.自立支援介護（→肺炎、骨折減少）による （医療費）経済効果 特別養護老人ホームの場合

	肺 炎	骨 折
	一般特養7.85% ¹⁾ →自介特養2.14% ²⁾ 1) 自立支援介護に取り組んでいない特養 2) 自立支援介護でおむつゼロとなった特養 * 数値は入所利用者の年間肺炎発生率	一般特養5.0% ¹⁾ →自介特養1.43% ²⁾ * 数値は入所利用者の年間骨折発生率
	特養入所者 640,100人	
	1肺炎治療費 1,457,175円	1骨折治療費(リハビリ含む) 1,692,970円
効果 (特養)	$640,100人 \times (7.85 - 2.14\%) \times 1,457,175円$ =約532億59百万円	$640,100人 \times (5.0 - 1.43\%) \times 1,692,970円$ =約386億87百万円
	計(約)919億4百万円	
効果(特養・老健・療養病床)－入所者1,231.8 ^(千人)	肺炎(約)1024億9千百万円	骨折(約)744億48百万円
	計(約)1767億40百万円	
効果 全介護保険利用者－ 6,051.1 ^(千人)	(肺炎・骨折)計(約)8692億2百万円	

IV.介護離職ゼロへのアプローチ

－介護者が安心して会社に行けるように

ポイントは排泄の自立と移動の安全



○たとえば要介護度Ⅲ,Ⅳ,Ⅴであっても機能改善すれば、或いは介護ロボットによる安全歩行が確保されて、食事などが提供されれば多くの家庭で離職不要となる。

○基本は要介護者を限りなくゼロにすること

(スローガン)

自立して元気で明るい老後と社会

自立支援介護普及定着の戦略

- ・ 介護は自立支援介護で行うとの明確な方向づけと制度改革

